



(一社) 北海道中小企業家同友会

くしろ支部第3回定時総会報告書

2018年4月24日(火) 18:20~21:15

於: 釧路プリンスホテル

Think Small First!

~中小企業は地域と国民生活を支えている~

<同友会理念>

同友会の3つの目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。(よい会社をつくろう)
2. 同友会は、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。(よい経営者になろう)
3. 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく経済・社会・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本と北海道経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。(よい経営環境をつくろう)

同友会の3つの精神

自主・民主・連帯の精神

同友会の目指す企業像

国民や地域と共に歩む中小企業をめざす

同友会が目指す21世紀型企業

1. 自社の存在意義を改めて問い直すとともに、社会的使命感に燃えて事業活動を行い、国民と地域社会からの信頼や期待に高い水準でこたえられる企業。
2. 社員の創意や自主性が十分に発揮できる社風と理念が確立され、労使が共に育ちあい、高まりあいの意欲に燃え活力に満ちた豊かな人間集団としての企業。

同友会の合言葉

1. 知りあい、学びあい、援けあい、共に繁栄を目指しましょう!
2. きばらず、せかず、諦めず、私たちの要望を実現しましょう!
3. 激動をよき友とする経営者になりましょう!

会員間取引の3つの申し合わせ

1. 同じものを買うなら会員企業から。会員にはなるべく安くて良いものを提供する。
2. 率直に希望を出し合い、仕方なくお義理で取引するのはやめ、お互いに利益は保障する。
3. 取引を通じて、会員同士の友情と信頼が一層深まるよう努力する。

=== 式 次 第 ===

18:20 開会

開会挨拶

(一社)北海道中小企業家同友会 くしろ支部 支部長 長江 勉

北海道中小企業家同友会 2018 年度活動方針(案)の報告

(一社)北海道中小企業家同友会 副代表理事 曾根 一 氏

<第1部 定時総会>18:35~19:40

議長の選出

議案第1号 2017 年度活動報告

議案第2号 2017 年度決算報告

会計監査報告

議案第3号 2018 年度役員選出

休憩 第1回幹事会開催

第1回幹事会報告

議案第4号 2018 年度活動方針(案)の提案

各地区会からの活動計画の報告

議案第5号 2018 年度予算(案)の提案

議案第6号 全道総会代議員の選出

質疑応答

採択

議長退任

<第2部 懇親会>19:50~21:15

開会挨拶・乾杯

全道青年部・後継者部会交流会 in くしろ PR

全道経営者“共育”研究集会 in とかち PR

閉会挨拶

2018 年度活動方針（案）

基本方針（案）

<企業づくり>

1. 経営者と社員が共に学びを深め、激変する経営環境に対応できる企業体質を築こう
2. 経営指針の成文化と実践に取り組み、人間尊重経営の実践に取り組みよう

<地域づくり・経営環境づくり>

1. 中小企業憲章の精神を広め、全ての自治体に中小企業振興基本条例を制定しよう
2. 会内外の連携を強め、地域経済を活性化し、持続可能な地域をつくろう

<同友会づくり>

1. 同友会運動の実践を深め、次世代への円滑な継承をめざそう
2. 全道会員組織率 10%をめざし、組織強化と財政基盤の充実に取り組みよう
3. 同友会の原点に立ち戻り、活動をみつめ直そう

2018 年度 活動の力点（案）

スローガン 「入ってよかった 続けてよかった おかげで会社がよくなった」

<企業づくり>

1. 「労使見解」を学んで経営指針の成文化と実践に取り組み、就業規則を見直し、人を生かす企業づくりを進めましょう
2. 共同求人、社員共育活動を強化して人材の採用・育成・定着をはかり、次世代へ円滑な事業承継ができる企業をめざしましょう
3. 会員相互の連携をはかり、国内外の新市場・新分野に目を向け、既存事業の強化と新規事業へ挑戦する企業をめざしましょう

<地域づくり・経営環境づくり>

1. 中小企業憲章を広め、中小企業振興基本条例の制定、活用を推進しましょう
2. 持続可能な地域をめざし、課題を明確にした学びと産学官金連携を推進しましょう
3. 大きく変化する金融・税制問題の学習に取り組み、金融機関との関係を深めましょう

<同友会づくり>

1. 2019 年の北海道同友会創立 50 周年を、6,000 名会員で迎えましょう
2. 会員相互の経験を交流し深く学びあう例会の充実をはかりましょう
3. 新会員やごぶさた会員も参加しやすい親しみある活動をめざしましょう
4. 第 35 回全道経営者“共育”研究集会 in とかちを成功させましょう
5. 2020 年に札幌で開催される中同協総会の準備を開始しましょう
6. 役員研修の充実をはかりましょう
7. 事務局員の育成強化につとめましょう

議案第1号 2017年度活動報告

《スローガン》「広域な根釧の企業家が力を結集し、更なる飛躍へ」

1. 根釧地域の企業づくりを、会員の知恵の交流で意欲的に進めよう

①2017年度は会員報告率10%を目指して積極的に報告を進めました。釧路地区会では委員会、部会が担当して札幌支部会員を招くなど毎月例会を開催しました。根室地区会では新会員の報告例会や、優れた経営実績を持つ地元、他地区会の方を迎えて4回の報告例会を開催しています。別海地区会では発会10周年を迎え、記念事業を催行。また毎月の例会の他に、人口減対策を主なテーマとした地域課題プロジェクトを8回開催し、町への提言書をまとめています。南しれとこ地区会では求人や社員教育など会員が抱える課題について率直に語り合う例会や、経営指針、事業承継をテーマにするなど多彩な活動を行いました。厚岸地区会では地域の観光資源を探る例会や、シニア世代の活躍や、労務管理をテーマとした例会が行われました。摩周地区会では、地熱を利用した経営戦略や、労務管理セミナーを開いた他、弟子屈高校の職種説明会などで高校生に対して業界の説明をしました。標茶地区会では初の高校生のバスツアーを行うなど地元就職促進に取り組みました。会員報告例会の他、東川町の副町長を招いて開催したまちづくりセミナーには多数の参加者が集まりました。ルパン浜中地区会では霧多布湿原の魅力を再発見する例会を開催した他、初めて高校教員との懇談会を開き、次年度の企業説明会開催につながるなど有意義な交流ができました。

②各地区会の取り組みの結果、部会、同好会などを含め会員80名（重複を除く）が報告し、学びを深めました。新しい辞書の1ページをめくる活動が展開された1年でした。

③釧路地区会では「第4期くすり塾」（5名参加）、南しれとこ地区会では「経営指針づくり勉強会」（4名参加）、別海地区会では「経営指針成文化研究会」（5名参加）を開催し、経営理念、10年ビジョン、方針、計画等を練り上げました。南しれとこ地区会、別海地区会では2018年度も継続開催します。また、くしろ支部経営指針委員会では、各地の取り組みの成果や課題を共有し、経営指針づくりの普及に向けて取り組みました。

④会員企業の人材の採用と定着の難しさを受けての求人、教育活動となった1年でした。釧路、根室管内の高校生の就職率も100%近い実績になるなど、求人の環境は厳しさを増しています。さらに大学などの採用では内定辞退も多くなっています。対策として7地区会が高校との懇談会を開催し、根室、摩周、別海の各地区会で各高校と連携して生徒が対象の職種説明会に会員を派遣しています。

⑤8月10日の合同企業説明会では40社が参加し高校生、大学生、中途求職者など151名が参加しました。また、同日実施しているUIJターン個別相談会（釧路市からの委託事業）を通して、介護事業所や、サービス業、食品製造業などへ10名の就職につながりました。釧路市の委託事業として開催している各大学の教授等の人脈マップは12大学19名となり、各大学への会員経営者の講師派遣や釧路への大学生の企業見学バスツアー、合同企業説明会の学生誘致の強力な応援団になっています。

合同入社式・新入社員研修会が別海会場（4社8名）、釧路会場（16社19名）の2カ所で開催され、経営者から辞令の交付を受けました。

⑥人材をどのように定着させるかが大きな課題になる中、共育委員会では釧路会場、別海会場で新入社員研修会を実施した他、先輩“共育”講座を初開催。若手社員の就業意欲向上を図るとともに、受け入れる先輩社員の意識改革にも取り組みました。釧路ではコミュニケーション研修会や、3年未満研修会を開催した他、同友会くしろ幹部大学では、11社11名が受講し無事全員が修了しました。また同友会くしろ幹部大学同窓会では20周年記念講演会を開きました。

2. 地域資源の再発見、新しい視点での企業連携で活性化を目指そう

8月に別海で開催した支部例会では観光をテーマに、北海道、道東のもつ魅力を外からの目線で語っていただき、地域の観光資源を再発見する機会となりました。また、3月に開催されました釧路経営セミナーでは厚岸のウイスキーとカキなど「食」の連携による地域ブランドづくりの可能性を議論する機会となりました。

3. 中小企業振興基本条例は地域の経営指針、制定の支援と実践を深めよう

①釧路では、隔月で中小企業円卓会議を開きました。釧路公立大学 地域経済研究センターの佐野修久センター長や、下山准教授（現 奈良県立大学）等の協力を得ながら、域内循環の促進や、観光の経済的波及効果を高めるための課題を学びました。また、釧路・根室管内自治体職員との条例懇談会を初開催し、2市4町から参加した職員と、条例制定の意義や、各市町村の中小企業振興施策の事例について学び、交流しました。

②根室市、中標津町、別海町では、中小企業振興審議会や、部会・検討会議に同友会会員が参画し、中心的役割を果たしています。人材育成支援や設備投資を促す補助制度等の中小企業施策について、経営の現場の声を行政に届け、実際の施策展開に寄与しました。中標津町では5年ぶりの経済分析調査と発表会が開かれ、地域経済の現状と課題、可能性について報告がありました。

4. 同友会の持続的な発展と地域の活性化を両輪として活動を展開

①組織委員会では、2014年度に発足した一步の会（学びあい小集団グループ）を3グループで行い、企業訪問の他、新会員や同友会歴の長い「ベテラン会員」の報告を中心に毎月例会を開催しました。企業経営における悩み、将来展望等が率直に語られ、同友会らしい「互いを知りあう学び」が展開されました。

②10月に、会員と未会員の同伴参加型の交流会「Doyu 交流会」を開催。同友会での学びや、様々な出合いを糧に活躍されている女性経営者の実践報告と交流会を通して、2社の仲間が増えました。

③2018年2月に開催した新会員オリエンテーションには、新会員7名と紹介者、幹事、組織委員が参加しました。釧路地区会組織委員長の乗山徹氏（ファーストコンサルティング（株）代表取締役）より、自身の入会の経緯、体験から同友会の魅力について報告がありました。交流会では新会員、紹介者のスピーチが行われ、同友会運動への理解と会員間交流を深めました。

④2017年度末の会員数は692社です。期首から8社の会員が増え新たな「辞書の1頁」を増やすことができました。人口減少、企業数の減少など会員増強には厳しい状況が続いていますが、より一層、魅力的な活動を展開しながら同友会の輪を広げていきます。

===くしろ支部 2017年度活動のまとめ（8地区会報告）===

《1. 釧路地区会》=====

《スローガン》 「心ひとつに力を合わせ柔軟かつ強靱な組織づくりを!!」

＜企業づくり＞

1、会社ぐるみで学びあい、経営体質の強化を図る活動を展開しよう

- ①2017年度釧路地区会経営指針委員会は第4期くすり塾を開催し、5社が参加しています。今期のくすり塾は中同協が新たに改定した「経営指針成文化と実践の手引き」に従い、新しいカリキュラムで実施しました。前年より新手引きで実施している十勝支部の取り組みに学び、交流して、カリキュラムづくりを行い、運営に活かしました。(経営指針委員会)
- ②毎回のくすり塾終了後に経営指針委員会を開催し、前回くすり塾の振り返りをKPTを用いて、K：良かったこと、続きたいこと、P：問題点、改善点、T：次回につなげること、新たな課題を明らかにし、次回のくすり塾の運営や実践の改善につなげました。塾生が欠席の場合のフォローとして、補講を開催しています。塾生とのスケジュールが合わず、1泊合宿の開催が出来ませんでした。経営指針づくりを深め、土台となる経営理念と方針づくりには欠かせないものです。あらためてその重要性に気づきました。対話と交流を重視して、くすり塾開催の後に毎回、懇親会を用意し、参加者との振り返りと交流を図りました。「くるる」はくすり塾にとって最高の場でしたが・・・残念です！(経営指針委員会)
- ③くすり塾卒業生にはサポーターとして参加いただき、塾生との対話、フィードバックをいただきました。また、経営指針づくりの意義と重要性を少しでも理解していただくために見学希望者を募り、3名の方に参加いただきました。くすり塾通信を発行し、会員の皆さんに、くすり塾の内容をお知らせしています。(経営指針委員会)
- ④若手社員の定着が中小企業の課題として挙げられる中、新入社員研修会（釧路会場 12社 18名、別海会場 3社 5名）、3年未満研修会（8社 11名）、マナー&コミュニケーション研修会（釧路会場 13社 19名）、先輩“共育”講座（8社 8名）の各研修を行いました。求人委員会と連携して採用から教育・定着までの一貫した人材づくりを行いました。(共育委員会)
- ⑤第25期幹部大学（8講 11社 11名）が開講され、全員が無事に修了しました。幹部大学同窓生が各講座の司会や第8講目を担当するなど近年活動が活発になっています。また、今期中の実施には至りませんでした。幹部大学別海会場の検討なども始まり、根室管内の幹部教育も開催に向けて動き出しました。(共育委員会)
- ⑥幹部大学同窓会では、設立から20周年を迎えたことから記念講演会を開催。神戸大学の二宮厚美

名誉教授をお招きし、「人間成長とやる気を引き出す現場教育を考える～若者のやる気スイッチはどこにあるのか～」というテーマでご講演頂きました。講演の後は二宮氏も交えたパネルディスカッションを行い、若者のやる気を引き出す職場づくりについて学びを深めました。(共育委員会)

- ⑦求人委員会は、新卒を対象に5月に釧路商工会議所と共催で37社275名の参加で開催、8月には釧路市と連携しながら合同企業説明会を開催し、38社の企業が参加し、151名（高校生68名、大学等14名、中途求職者69名）の学生が集まりました。

大学のゼミの教授との人脈マップ作りは13大学、20名との連携が図ることができ、12月15日の釧路企業の見学バスツアー、合同企業説明会の学生の参加に成果を上げています。中途求職者の採用では釧路市地域雇用創造協議会との連携もあり会員企業で2名採用することができました。同時に開催された女性求職者の合同企業説明会やスキルアップ事業でも会員企業に採用が決まっています。大学生に釧路の魅力伝えようと各大学のカリキュラムに講師を派遣していますが、今年は5大学7名となり、会員経営者が90分の持ち時間を生かして、釧路の産業や自社の経営戦略、釧路の元気な経営者などを紹介しました。アンケートでは釧路の企業に55%の方が興味を持ったと回答を得ています。(求人委員会)

- ⑧高校生の求人も年々厳しくなっていますが、6月に高校の担当教員との懇談会、教員対象の企業見学会など高校にも中小企業の魅力を伝えています。また、「働き方」を考えるセミナー、外国人雇用セミナーを開き、採用と定着の促進を目的としたワンポイントセミナーを開催しました。(求人委員会)

<地域づくり>

2、釧路市中小企業基本条例に基づいた地域づくりを推進しよう

- ①中小企業円卓会議を3回開催し、釧路公立大学地域経済センター・佐野センター長より「人口減少と地方創生の方向」、釧路市産業振興部・江縁次長から「釧路市における域内循環の取組み」、奈良県立大学・下山准教授による「くしろでの観光消費の域内波及効果を高めるために」をテーマとした講演会を実施。中小企業振興と地域振興に向けた課題・意見の共有を図りました。(政策委員会)
- ②「地域経済を考える懇談会」を3回開催し、域外からの交流人口の拡大や長期滞在における釧路の可能性、釧路の新たな観光資源と新ビジネスについて、「観光」をキーワードに学びました。(政策委員会)
- ③釧路地区会5月例会として、北海学園大学・大貝准教授をお招きし、北海道の経済状況と中小企業の経営課題についてご講演いただきました。中小企業はどのような戦略を描き、現状打破の次の一手をどう打ち出すか、参加者全員で活発に情報交換を行いました。(政策委員会)

<同友会づくり>

3、会員が心をつにして活動し、一人一人が主役として輝ける同友会活動

- ①学びあい小集団グループ「一歩の会」が「ホテルの光」、「昼食会」、「企業探検」の3グループで活動し、新会員が同友会を知り、仲間をつくるきっかけづくりの場になりました。また、恒

例となったとかち支部「拓の会」との合同例会を開催し、地域間交流を深めました(組織委員会)。

②支部主催の会員増強イベント「Doyu 交流会」に向けて、女性ゲストへ積極的に参加を呼び掛けました。また、合同企業説明会に参加した非会員への訪問を地区会役員や組織委員で行う等、会員増強に向けて新たなアプローチを展開しました(組織委員会)。

③新会員オリエンテーションを行い、組織委員が同友会の活動と組織の紹介、基調報告を行うなど、新たな学びの輪を拓きました(組織委員会)。

開催日	報告者	テーマ	参加数
5月例会 5月22日	北海学園大学 経済学部地域経済学科 准教授 大貝 健二 氏	北海道の経済状況と中小企業の経営課題 ～現状打破の次の一手をどう打ち出すか～	35
6月例会 (求人対策) 6月23日	(株)ティーピーパック 代表取締役 池川 和人 氏 (一社)北海道同友会 共同求人委員長・札幌支部会員	人材難で会社が危ない? ～労働人口減少時代の成長戦略～	17
くしろ支部7月例会 & 釧根農業経営部 会公開例会 7月27日	(株)セコマ 代表取締役社長 丸谷 智保 氏	地域にこだわる!セコマの経営戦略	100
8月例会(共育) 8月9日	(株)和光 代表取締役社長 田中 伸一良 氏(札幌) KIMONO HANA パセオ店 店長 鷺田 祐子 氏 開発事業部 HANA 商品課 課長 鶴谷 信之 氏	着物屋3代目社長が語る!「衰退市場で再成長!」 ～社員と共に企業再構築を進める～	32
青年部みけた会 公開例会&9月例会 9月12日	(株)どんぐり 代表取締役社長 野尻 雅之 氏(札幌支部会員)	社員が輝く企業づくり ～パン屋業界の異端児、二代目社長の挑戦～	32
経営支援セミナー2017～ 10月3日	ダイヤ精機(株) 代表取締役社長 諏訪 貴子 氏(東京)	人とダイヤは、磨けば光る	120
幹部大学同窓会 20周年記念講演会 11月14日	神戸大学 発達科学部 名誉教授 二宮 厚美 氏	人間成長とやる気を引き出す現場教育を考える ～若者のやる気スイッチはどこにあるのか～	109
くしろ支部 2018年新年交礼 会	ふらのまちづくり(株) 代表取締役 西本 伸頭 氏 (株)北印 代表取締役社長	フラノマルシェの奇跡 ～それは『まちづくり熱血おじさん』の一言から始まった～	123
2月例会 2月27日	(株)共同電設 代表取締役 原田 健太 氏(とかち支部幹事(経営指針副委員長))	家業から企業へ 二代目の志 ～「よい会社」とはどんな会社だろうか～	15
第5回釧根経営 セミナーin厚岸 3月15日	堅展実業(株)・厚岸蒸溜所 所長 立崎 勝幸 氏	厚岸蒸溜所の1年目の挑戦～夢は“厚岸オールスター”でのウイスキー造り～	61

《2. 根室地区会》=====

《スローガン》 一步前進、更に挑戦、根室の未来に繋げよう！！

1. 多様なテーマで例会を開催し、学びを深めました。

新会員を含む会員報告、経営指針の必要性、企業づくり、人づくり、地域づくりなどをテーマに例会を開催しました。別海地区会との相互交流も継続開催しました。

2. 「根室市中小企業振興基本条例」運用への参画。

2015年4月1日より施行された条例に基づく、根室市中小企業振興基本条例審議会に会員が委員として参画し、小規模企業の支援策等の具体化について議論を進めています。

3. 地域の歴史を学ぶ公開シンポジウムを開催しました。

根室の地域資源を再発見する目的で、写真家の岡田敦氏を招き、貴重な高山植物、天然記念物の鳥、野生馬が共生する幻の島ユルリの魅力を共有しました。メディアにも取り上げられ、根室の新たな産業として観光振興の促進につながる機会となりました。

4. 高校との就職懇談会を開催

根室高校と根室西高校の教員との懇談会を開催し、高校生の就職状況の報告と企業側の採用と定着課題について意見交換しました。人口減と進学率の向上による就職希望者の減少が深刻な状況になっていることを改めて確認しました。

5. 会員数は前進するも目標には届かず

70 社会員を目標に会員増強に取り組みましたが、2社増の67社にとどまりました。未会員に対する参加の呼び掛けを機会にすることが課題となりました。

4/13	根室地区会第2回定時総会 26名 会場：イーストハーバーホテル 基調報告：お客様と“二人三脚で歩む(Walk)”Malk(モーク)の挑戦！ ～情報発信の新たな可能性提案～ 報告者：合同会社Malk 代表 濱屋 雄太氏(根室市)
5/24	根室地区会5月例会(公開シンポジウム) 82名(会員11名) 会場：根室市総合文化会館 多目的ホール テーマ：ユルリ島はどうあるべきか～自然保護、地域振興の視点から～ 報告者：写真家 岡田 敦氏 学芸員 外山 雅大氏 根室市 商工観光課長 干野 満広氏 落石漁業組合 専務理事 浄土 昭雄氏 落石漁業組合 組合員 庄林 泰三氏 ねむろ花しのぶ会 会長 吉澤 善子氏
7/6	根室地区会7月例会 18名 会場：イーストハーバーホテル テーマ：80年の歴史を紡ぐ～“地元にはできない店”を目指した事業展開～ 報告者：(株)山一 佐藤紙店 代表取締役社長 佐藤 公一郎氏

7/18	高校と地元企業の就職情報懇談会 10名 会場：北海道根室高等学校 会議室 テーマ：若手社員の定着率向上を目指して
8/17	根室地区会 8月オープン例会 14名 会場：イーストハーバーホテル テーマ：魚と日本人～魚食文化の変化と水産業のこれから～ 講師：北海学園大学 経済学部 教授 濱田 武士 氏
9/16 ～17	根室さんま祭り（炭火焼き部会）ボランティア 10名
10/12	根室地区会 10月例会 12名 会場：根室市総合文化会館 視聴覚室 テーマ：事業承継と企業変革～最悪の事業承継から、新しい会社づくりへ～ 報告者：(株) 宇佐美商会 代表取締役社長 宇佐美 隆 氏 (北海道中小企業家同友会 札幌支部長)
11/16	根室地区会 11月例会 17名 会場：エクハシの宿 別館 テーマ：明日の根室を語りましょう～あなたが描く未来予想図～
12/14	根室地区会&山高会 合同望年例会 16名 会場：ホテルねむろ海陽亭
1/30	根室地区会新春講演会&新年交礼会 26名 会場：イーストハーバーホテル テーマ：時代の変化に対応する企業づくり、人づくり 報告者：(株) サンコー 代表取締役会長 山田 修三 氏 (一社) 北海道中小企業家同友会 全道組織・企画委員長 札幌支部)
2/22	根室地区会 2月例会 11名 会場：イーストハーバーホテル テーマ：新会員報告会～わたしの歩みと会社の話～ 報告者1：メーコー商事(株) 常務取締役 石川 尚人 氏 報告者2：(株) 前田中央薬局 代表取締役 前田 久未子 氏
3/17	根室地区会 3月例会～別海地区会との交流会～ 17名 ・見学：国指定史跡 旧奥行臼駅通所 保存修理工事現場 ・交流会 酔楽まる太 別海町店

《3. 別海地区会》=====

《スローガン》 さらなる10年、地域と共に築く繁栄の礎

別海地区会は、2007年11月に地域の期待を担って40社で発会しました。活発な地区会活動と共に会勢は伸び、2017年に10周年を迎えより一層地域になくてはならない経営者団体として評価が高まっています。

2017年度の活動の特徴として次の点が挙げられます。

1) 2012年2月に始まった宮城同友会と別海地区会の地域間交流を継続開催しました。2017年度は、11月21日に行われた別海地区会10周年記念事業に、白石蔵王支部から2名が参加し共にこれからの10年を語り合いました。

2) 別海町医療サポート隊「医良同友」の講演会も継続開催し、超高齢社会における地域での今後の

終末期医療のあり方を学びました。在宅介護・在宅看取りが増えていくことを見越して、医療・介護・福祉が一体となった地域包括ケアシステムについて問題提起を受けました。

- 3) 担当委員が同友会の3つの目的に沿った例会・活動を企画し活動を展開しました。地区会例会では、全国・全道各地から講師を招へいし、会社づくりや観光による地域振興、人材育成や強みを活かした地域づくりなど、多面的な話題をテーマに多くの会員が学びを深めました。また、人口減対策を軸に、これまでの学びの蓄積を生かした「地域課題プロジェクト」が始まり、行政への提言に向けて動き出しました。
- 4) 2013 年度より「経営指針成文化研究会」を継続開講し、自社の経営指針づくりに励みました。今期は「経営指針成文化研究会」を4名で開講し、自社の経営指針づくりに取り組みました。
- 5) 2009 年に施行された「別海町中小企業振興基本条例」の推進に向けた活動を展開しました。別海町では、中小企業振興基本条例を根拠に効果的な施策展開を図るため、釧路公立大学地域経済研究センターに委託していた産業連関表が完成し、地域の産業構造や優先的に取り組むべき課題が見えてきました。また、会員が委員として中小企業振興検討会議に参加し、中小企業のニーズを施策に反映できるよう尽力しています。
- 6) 10 周年 90 社会員を目指し、旺盛な活動を展開しましたが、未会員への呼びかけが十分でなく、85 社にとどまりました。地域への情報発信と未会員への積極的な声かけが課題となりました。

<2017 年度の活動のあゆみ>

4/21	別海地区会第 11 回定時総会 34 名 テーマ：現状を打開する異質化戦略～変化を求める社風づくりへの挑戦～ 報告者：ソーゴー印刷(株) 代表取締役 高原 淳 氏(帯広市)
4/27	2017 年度 経営指針成文化研究会オリエンテーション 5 名
5/16	「医良同友」役員会
5/17	別海地区会第 2 回経営指針成文化研究会 5 名
5/21	愛媛大学 和田教授との条例懇談会 2 名
5/25	別海地区会 5 月例会～地域課題プロジェクトをスタート！～ 13 名 テーマ：別海町の人口減対策について考える ～親になる世代の確保、需要創出（域内循環と外貨獲得）のために我々ができることとは～ ファシリテーター：NPO ファシリテーションきたのわ 東田 秀美 氏
6/14	別海地区会 第 3 回経営指針成文化研究会 4 名
6/15	第 2 回地域課題プロジェクト 12 名 テーマ：別海町の人口減対策について考える 2 ～親になる世代の確保、需要創出（域内循環と外貨獲得）のために我々ができることとは～ ファシリテーター：NPO ファシリテーションきたのわ 東田 秀美 氏
6/27	別海地区会 6 月例会 12 名 テーマ：4 代目宿主が挑む老舗温泉の差別化戦略 報告者：(株)川湯ホテルプラザ<お宿 欣喜湯(きんきゆ)> 専務取締役 榎本 竜太郎 氏

7/7	別海高校生との懇談会 8名 ・企業紹介 ・懇談会
7/19	別海地区会 7月例会 10名 テーマ：「知床チェブ饅」をウトロの地域ブランドに！ ～鮭（チェブ）は神様からの贈り物～ 報告者：（有）マルミヤ大宮商店 代表取締役 藤田 裕司 氏（オホーツク支部）
7/20	別海地区会第4回経営指針成文化研究会 5名
7/21	別海町医療サポート隊「医良同友」活動報告会・医療講演会・懇親会 12名 ・活動報告会 ・医療講演会 テーマ：素晴らしい人生を送るためのメンタルスキルの向上 報告者：オフィスK 代表 小松 明広 氏 （北海道メンタルトレーナー協会顧問・専任講師） ・懇親会
7/26	第3回地域課題プロジェクト 12名 テーマ：別海町の人口減対策について考える3 ～親になる世代の確保、需要創出（域内循環と外貨獲得）のために我々ができることとは～ ファシリテーター：NPO ファシリテーションきたのわ 東田 秀美 氏
8/28	別海地区会8月オープン例会（くしろ支部8月例会） 93名 テーマ：観光を地域戦略に！根釧から観光立国を目指す！～地方創生で北海道を元気に～ 講師：公益財団法人 大阪観光局 理事長 溝畑 宏 氏（元観光庁長官）
8/29	大貝ゼミとの交流会 13名
8/31	第4回地域課題プロジェクト 8名 テーマ：別海町の人口減対策について考える4 ～親になる世代の確保、需要創出（域内循環と外貨獲得）のために我々ができることとは～ ファシリテーター：NPO ファシリテーションきたのわ 東田 秀美 氏
9/29	別海地区会9月例会 14名 報告テーマ：別海町の小・中学校におけるキャリア教育について 報告者：別海町教育委員会 指導参事 根本 渉 氏 懇談テーマ：地域に必要な小学校・中学校のキャリア教育について
10/13	別海地区会10月例会～地域課題プロジェクト～ 9名 テーマ：別海町の人口減対策には何が必要か ～親になる世代の確保、需要創出（域内循環と外貨獲得）のための提言書作成に向けて～
10/16	奈良県同友会との条例懇談会 8名 ・条例懇談会 テーマ：別海町における中小企業振興条例制定のプロセスと実践について ・交流会
10/23	別海町医療サポート隊「医良同友」医療講演会 9名 テーマ：超高齢社会での介護と終末期医療 ～地域で描く看取り社会の構築に向けて～ 講師：社会福祉法人 幸清会 理事長 大久保 幸積 氏（洞爺湖町）

11/21	別海地区会設立 10 周年記念事業～地域と共に歩む、さらなる 10 年へ～ 62 名 (くしろ支部 11 月例会) ・記念式典 ・記念講演 テーマ：森林版 6 次産業で地域の持続的発展をめざす 講師：下川町 町長 谷 一之 氏 ・懇親会
12/5	第 6 回地域課題プロジェクト～提言書の作成・提出に向けて～ 9 名 テーマ：別海町の人口減対策を地域が連携して考えるために ～みんなが担い手、当事者として取組む、町づくりへ～
12/26	別海地区会 望年例会 20 名
1/12	別海地区会新春講演会&新年交礼会 38 名 ・新春講演会 テーマ：産業連関表から別海町の地域経済を読み解く 講師：釧路公立大学 地域経済研究センター センター長 佐野 修久 氏 ・新年交礼会
2/16	別海地区会 2 月例会<第 7 回地域課題プロジェクト～提言書の作成・提出に向けて～>9 名 テーマ：別海町の人口減対策を地域が連携して考えるために ～みんなが担い手、当事者として取組む、持続可能な町づくりへ～
3/17	別海地区会 3 月例会～根室地区会との交流会～ 17 名 ・見学 (旧奥行臼駅通所 保存修理工事現場) ・交流会
3/20	第 8 回地域課題プロジェクト～提言書の作成・提出に向けて～ 5 名 テーマ：別海町の人口減対策を地域が連携して考えるための仕組みとは ～みんなが担い手、当事者として取組む、持続可能な町づくりへ～

《4. 南しれとこ地区会》=====

《スローガン》

会員（異業種）で集まり、学び、さらに懇親を深め地域のパワーの一助となる

1. 同友会の「3つの目的」に沿った学びあいを活発に展開しました。

担当委員会が知恵を絞って同友会の「3つの目的」に沿った活動を企画し、経営指針、事業承継、求人対策、会員が持つ課題に踏み込んだ話し合い例会などで、多面的な話題をテーマに多くの会員が語り合い、学びを深めました。

2. 「中小企業振興基本条例」の具体化に向けた活動を展開しました。

南しれとこ地区会では、「中標津町中小企業振興審議会部会」の構成団体として、複数の会員が部会に参画し、地元の中小企業を対象とした支援策、雇用拡大を目指した制度運用などの具体的方策について検討しました。また、5年ぶりに行われた中標津町経済分析発表会にも多くの会員が参加。ついに人口減時代に突入したこの町における、条例を軸にした地域づくりについて考えるきっかけとなりました。

3. 経営指針の成文化に向けた勉強会を開催しました。

「第 8 期経営指針づくり勉強会」では 4 名が登録し、研究会で自社の悩みや成果を持ち寄り、経営指針の成文化に向けて学びあいました。

4. くしろ支部各地区会との交流・連携を深めました。

支部例会や釧根経営セミナーへの積極的な参加を通じて、他地区の会員と交流を行いました。また、中標津で一泊研修を行ったマルチメディア研究会にもオブザーバー参加し、新たな視点からの学びも深めました。

5. 会員数は維持

70 社会員を目指して会員増強を行いました。一進一退の 68 社にとどまりました。未会員のオブザーバー参加の積極的な呼びかけやメディアへの活動発信が課題となりました。ただ、新規入会や事業承継による会員交代で青年経営者の仲間が増え、地区会の継続的発展に向けて、踏み出した年となりました。

<2017 年度 南しれとこ地区会 活動のあゆみ>

4/17	南しれとこ地区会 第2回定時総会 23名 第1部 南しれとこ地区会定時総会 第2部 基調報告 テーマ：いま、改めて問われる“経営者の責任”～社員と共に企業づくり～ 報告者：(株)エムリンクホールディングス 代表取締役社長 本見 研介 氏 第3部 懇親会
5/23	南しれとこ地区会 ゴルフコンペ&会員親睦懇親会 15名 ・ゴルフコンペ ・会員親睦懇親会
6/5	南しれとこ地区会&釧根農業経営部会 6月オープン例会 32名 テーマ：『地域の価値をあげるなりわい』～世界が求める本質的なモノやコト～ 報告者：NPO 法人 Earth Cube Japan 代表理事 中村 功芳(あつよし) 氏 (岡山県倉敷市)
6/8	中標津町中小企業振興審議会第1回部会 3名
6/14	経営指針づくり勉強会 オリエンテーション 3名
7/24	南しれとこ地区会 7月例会 17名 テーマ：話し合い例会！ 話題提供1：小針土建(株) 経理部長 齊藤 貢 氏 ～私が今一番気になっている事！『死ぬくらいなら会社辞めれば(書籍)』 話題提供2：菱中産業(株) 中標津営業所 所長 武山 千明 氏 ～私が今一番気になっている事！『社員との接し方について』 コーディネーター：中標津こどもクリニック 院長 栗山 智之 氏
7/26	第2講 経営指針づくり勉強会 3名
8/24	中標津合同企業説明会 97名
8/25 ～26	南しれとこ地区会 8月羅臼移動例会 14名 <1日目> テーマ：羅臼町の新しいまちづくり戦略 報告者：羅臼町 町長 湊屋 稔 氏 <2日目> 知床ネイチャークルーズ(ホエールウォッチング)
8/30	第3講 経営指針づくり勉強会 4名
9/13	第4講 経営指針づくり勉強会 4名
9/15	南しれとこ地区会 9月例会 13名 テーマ：『ルールって何だろう』～その目的は何か～ 報告者：中標津警察署 交通課長 松浦 大史 氏
9/20	中標津町中小企業振興審議会第2回部会 12名
10/11	第5講 経営指針づくり勉強会 4名

10/23	南しれとこ地区会 10月例会 14名 テーマ：求人難は本当か？～選ばれる企業になるために～ 話題提供1：根室公共職業安定所 上席職業指導官 菊地 清彦 氏 中標津分室主任 大城 有弘 氏 話題提供2：(有)カードック S&P 代表取締役 松平 正信 氏 (中標津)
11/15	第6講 経営指針づくり勉強会 4名
11/27	南しれとこ地区会 11月例会 13名 テーマ：事業承継について ～今後につなげる熱い思い～ 講師：(株)北海道銀行 中標津支店長 高島 信之 様
12/6	南しれとこ地区会 望年例会 24名
12/13	第7講 経営指針づくり勉強会 4名
1/24	南しれとこ地区会 新年交礼会 50名 <新春講演> テーマ：企業を繋いでいくということ ～私らしさ、私たちらしさ、我が社らしさを大切にする～ 報告者：岩見沢液化ガス(株) 代表取締役 渡辺 美智留 氏 (一社)北海道中小企業家同友会副代表理事・南空知支部)
2/13	中標津町中小企業振興審議会第3回部会 45名
2/13	中標津町経済分析発表会 12名 講師：奈良県立大学 地域創造学部 准教授 下山 朗 氏
2/21	南しれとこ地区会 2月例会 17名 テーマ：経営指針づくりのためのワークショップ～BCP(事業継続計画)は必要不可欠!～ 講師：東京海上日動火災保険(株) 釧路支社 支社長代理 門田 康志 氏
3/12	南しれとこ地区会 3月例会 17名 テーマ：話し合い例会!～みんなが今、気になっている事～ 話題提供：小針土建(株) 経理部長 齊藤 貢 ～経営課題アンケート結果から見えた事は～ 菱中産業(株) 中標津営業所 所長 武山 千明 ～給与のルール、おもしろ手当、まだある神対応～

《5. 標茶地区会》=====

《スローガン》 気持ちを一つに、標茶地区会～原点を見つめて～

- 1) 標茶地区会で初めての取り組みとなる「地元企業訪問バスツアー」を開催。就職希望の高校3年生13名と教員が高卒採用を予定している町内企業6社を訪問。地元企業を知り、働く現場を知ることによって地元への就職意欲向上を目指しました。また、昼食交流会では会員企業も数多く参加し、「働くこと」に対するざっくばらんな意見交換も和やかに進みました。
- 2) 2015年に開催し好評いただいた、「まちづくりオープン例会」の第2回目となる講演会を9月に開催。東川町・長原副町長をはじめ担当者2名に移住定住促進策の現状や「東川町のファンづくり」についてご報告いただき、地域の特色を生かしたまちづくりについて学びました。次年度は標茶から東川に赴き交流したいという声も出ており、更なる連携の輪が広がりを見せています。

3) 定時総会では雪印メグミルク（株）磯分内工場・北川氏、11月例会には標茶町育成牧場・類瀬場長、2月例会にはサトケン・佐藤社長（当会幹事長）に報告いただき、地域や会員を知る学びあいを展開しました。

4/10	◇第6回 定時総会 28名 テーマ；道東しべちやの酪農を支える乳製品工場の取組み 講師；雪印メグミルク（株） 磯分内工場 工場長 北川 俊幸 氏
6/15	◇第1回幹事会 7名
7/26	◇地元企業訪問バスツアー・昼食交流会（標茶地区会7月例会） 22名 1) 地元企業訪問バスツアー 2) 昼食交流会
9/20	◇標茶地区会まちづくりオープン例会 25名 テーマ；「人口の増える町」東川町から学ぶ、東川スタイルのまちづくり 講師；東川町 副町長 長原 淳 氏 東川町 産業振興課 課長 佐藤 文泰 氏 東川町 企画総務課 主事 柳澤 奨一郎 氏
11/18	◇標茶地区会 11月例会 14名 テーマ；公共牧場がもたらす酪農の明るい未来 講師；標茶町育成牧場 場 長 類瀬 光信 氏
2/21	◇標茶地区会 2月例会 17名 テーマ；意外と知らない「サトケン」の仕事 報告者；（株）サトケン 代表取締役 佐藤 紀寿 氏
3/12	◇第2回幹事会 5名

《6. 厚岸地区会》=====

《スローガン》観光を学ぼう～観光から考える地域産業の課題、経営戦略～

1. 「観光を学ぼう～観光から考える地域産業の課題、経営戦略～」をスローガンに、観光や 地域産業に焦点を当てた学びを展開しました。5月には厚岸の一大イベントである、「あつけし桜・牡蠣まつり」に参加し、ざっくばらんに地域観光について展望しました。また、新年例会では、11月にオープンしたオイスターバー「牡蠣場」にて美味しい牡蠣料理を味わいながら、会員のカキキン・中嶋社長にご自身の夢について語っていただきました。地域の食の魅力を再発見する機会となりました。

2. 厚岸地区会で初めての取組みとなる「労務管理」をテーマとした例会を開催し、商工会職員や、会員企業の従業員等も参加しました。時間外管理の考え方や、シニア世代の活用等、地方企業で大きな課題となっている、労働力・人材不足に対して経営者が知っておくべき経営課題について学びました。
3. 第5回釧根経営セミナーの設営を担当し、くしろ支部各地より63名が参加。講演では、2016年に厚岸町でウイスキー蒸溜を始めた堅展実業(株)の厚岸蒸溜所・立崎勝幸所長に、蒸溜所の1年間の挑戦と自社のミッションについて報告いただきました。品質の良い麦汁(ウォート)造りを使役とし、オール厚岸産のウイスキー製造を目指す立崎所長の想い、戦略から地域づくりや企業経営のヒントを得ることができました。懇親会では厚岸蒸溜所のウイスキーと牡蠣等の厚岸の味覚を味わい、厚岸らしさを体感。地域の可能性を大いに語り合いました。

日 時	企画名	会 場
4月12日(水)	厚岸地区会 第15回定時総会 テーマ：80年の歴史を紡ぐ～“地元にはかできない店”を目指して～ 報告者：(株)山一 佐藤紙店 代表取締役社長 佐藤 公一郎 氏(釧路地区会 副幹事長)	
4月21日(金)	■厚岸地区会 第1回幹事会	会場：コンキリエ
4月25日(火)	くしろ支部 第2回定時総会	
5月14日(日)	【5月例会】 テーマ：見つめ直そう、我がまちの観光資源！	会場：子野日公園
8月18日(金)	■厚岸地区会 第2回幹事会	会場：社会福祉センター
9月15日(金)	【9月例会】 テーマ：あなたの会社は健康ですか？～労務管理からみる健康な会社～ 講 師：柴崎社会保険労務士事務所 所長 柴崎 主税氏	会場：厚岸町商工会
11月13日(月)	■厚岸地区会 第3回幹事会	会場：厚岸町商工会
11月13日(月)	【11月例会】 テーマ：シニア社員はあなたの会社の“ホープ”です ～年金、助成金の上手な活用法～ 講 師：柴崎社会保険労務士事務所 所長 柴崎 主税氏	会場：厚岸町商工会
1月11日(木)	【新年例会】 テーマ：新「カキえもん」物語 報告者：カキキン(有) 代表取締役 中嶋 均 氏	会場：オイスターバー 牡蠣場
2月20日(火)	■厚岸地区会 第4回幹事会	
3月15日(木)	【第5回 釧根経営セミナーin厚岸】 テーマ：厚岸蒸溜所の1年目の挑戦 ～夢は“厚岸オールスター”でのウイスキー造り～ 講 師：堅展実業(株)・厚岸蒸溜所 所長 立崎 勝幸 氏	会場：本の森 厚岸情報館

《7. 摩周地区会》=====

《スローガン》 摩周の魅力再発見！～地域、人を見つめて2017～

1. 弟子屈高校との連携を2017年度も継続して行いました。高校教員との懇談会や、高校生1年生を対象とした職種説明会を行い、高校のキャリア支援にも地区会として積極的に携わりました。
2. 2014年度より継続的に取り組んでいる「美味しい例会」では、釧路地区会の丸中釧路中央青果(株)の齋藤部長に話題提供いただきました。近藤幹事長が直々に釣ったブリや、旬の摩周メロンを味わいながら、豊かな食生活に欠かせない市場の役割等について学びました。
3. 4月開催の定時総会では、(株)オリエンタルランドの矢島氏と加藤氏にお話を頂きました。また、12月の望年例会では新会員の協和建設・延藤社長、2月例会では野村北海道菜園・十川社長にそれぞれお話いただき、地域の魅力や資源、会員を改めて知る学びに力を入れて活動しました。
4. 労務セミナーを3月に開催し、シニア世代の働きやすい職場づくりについて学びました。地域の人口減少が避けられない、経験のあるシニア世代に活躍してもらえる職場を整備することは喫緊の課題でもあります。

日 時	企画名
4月14日(金)	【摩周地区会第13回定時総会】 テーマ：オリエンタルランド「弟子屈イチゴ農園」への挑戦 講師：(株)オリエンタルランド マネージャー 矢島 俊明 氏 (株)オリエンタルランド 弟子屈農園 農園長 加藤 富久 氏
4月25日(火)	くしろ支部 第2回定時総会
5月18日(木)	◇第1回 幹事会
6月22日(木)	■弟子屈高校 職場実習事前指導(弟子屈高校2年生が対象)
7月20日(木)	【7月例会】 テーマ：こんな田舎に色々な酒、色々。～まちの小さな酒屋の今後を考える～ 講 師：(株)西沢商店 店主 金子 高志 氏
8月24日(木)	■弟子屈高校 面接指導(弟子屈高校3年生のうち就職希望者21名が参加)
8月1日(火)	【8月例会 美味しい例会】 テーマ：釧路市場の歩みと市場を取り巻く環境 報告者：丸中釧路中央青果(株) 総務部長 齋藤 和芳 氏
10月12日(木)	【10月例会 高校との懇談会&懇親会】 弟子屈高校からの報告、グループ討論
11月1日(水)	■弟子屈高校 コース別進路講演会(23名が参加)
11月20日(月)	◇第2回 幹事会
12月18日(月)	【望年例会】 テーマ：自社の歩みと今後の展望 ～地域に根差した企業として～ 報告者：(株)協和建設 代表取締役 延藤 政則 氏

1月15日(月)	くしろ支部 新年交礼会 テーマ：フラノマルシェの奇跡 ～それは『まちづくり熱血おじさん』の一言から始まった～ 報告者：ふらのまちづくり(株) 代表取締役 西本 伸顯 氏
2月6日(火)	【2月例会】 テーマ：温泉熱の可能性 報告者：野村北海道菜園(株) 代表取締役社長 十川 洋 氏
2月6日(火)	◇第3回 幹事会
2月15日(木)	■職種説明会(弟子屈高校1年生41名が参加)
3月6日(火)	◇第4回 幹事会
3月6日(火)	【労務セミナー】 テーマ：シニア社員はあなたの会社の“ホープ”です ～年金、助成金の上手な活用法～ 講 師：柴崎社会保険労務士事務所 所長 柴崎 主税 氏(釧路地区会会員)

《8. ルパン浜中地区会》=====

《スローガン》 One for all, all for one ～チームルパン浜中～

- 4月開催の定時総会では、会員のトンタス浜中・志賀取締役、12月開催の望年例会では故郷浜中で開業したVenire Venire(ヴェニーレ ヴェニーレ)・藤澤代表に報告いただき、地域資源・魅力の再発見、浜中の可能性について学びました。
- 浜中が生き残るための方策は何か。その一つの手段として観光が挙げられます。6月例会では霧多布湿原に注目し、改めて湿原の価値について学びました。浜中のみならず広く根釧エリアでの連携が必要さといった声が出された一方、浜中ならではの特色を生かした地域づくりを大切にすべきだといった意見も出され、活発に議論が進みました。
- 初の取組みとなった「霧多布高校と企業の就職情報懇談会」。出席教員と参加企業がざっくばらんに意見交換し、地元企業への理解が多いに深まりました。今後は、職種説明会を企画する等、更なる発展的な取り組みが求められています。地元への就職率アップや若者が成長できる環境づくりについて、地域をあげて考えてまいりましょう。
- ルパン浜中地区会は会員数目標の30社を達成しました。次年度も、会員以外の方も参加できる例会などを設け、地区会の活動周知とともに地域を巻き込む運動の推進を目指します。

	2017年度 ルパン浜中地区会	全道 ・ くしろ支部
4月20日(木)	■ルパン浜中地区会 第5回定時総会 テーマ：トンタス浜中の現状と展望 報告者：トンタス浜中(株) 取締役 志賀 功氏	4/25 くしろ支部総会
6月21日(水)	■ルパン浜中地区会 6月例会 テーマ：湿原の価値を高めていくまちづくり ～霧多布湿原は自然の教材～ 講 師：認定NPO法人 霧多布湿原ナショナルトラスト	

	理事長 三膳 時子氏	
7月4日(火)	第1回 幹事会	
7月20日(木)	■高校と企業の就職情報懇談会	
10月11日(火)	■ルパン浜中地区会10月例会 テーマ：事業承継と企業変革 ～最悪の事業承継から、新しい会社づくりへ～ 報告者：(株)宇佐美商会 代表取締役社長 宇佐美 隆 氏	10/6 道研 in ニセコ 10/26 釧路・根室管内自治体職員との条例懇談会 10/24 Doyu 交流会
11月28日(火)	第2回 幹事会	11/10 全道青年部・後継者部会交流会 in 函館
12月20日(水)	■ルパン浜中地区会望年例会 テーマ：ようこそ、【Venire Venire】へ！ ～夫婦二人三脚で歩む、故郷への思い～ 報告者：Venire Venire 代表 藤澤 秀樹 氏	
1月15日(月)	■くしろ支部 新春講演会&新年交礼会・ ルパン浜中地区会新年例会 テーマ：フラノマルシェの奇跡～それは『まちづくり熱血おじさん』の一言から始まった～ 講師：ふらのまちづくり(株) 代表取締役 西本 伸頓 氏 (株)北印 代表取締役社長、道北あさひかわ支部 富良野地区会)	
2月5日(月)	第2回 幹事会	

==くしろ支部 2017 年度活動のまとめ (5 委員会報告) ==

≪1. 経営指針委員会≫=====

- ①釧路地区会では「第4期くすり塾」を開講し、全11講に5名が参加。受講生が学びの成果を報告する「経営指針発表会」を開催し、経営者としての姿勢、ビジョン等を論議しました。南しれとこ地区会では「第8期経営指針づくり勉強会」(4名参加)、別海地区会では「第9期経営指針成文化研究会」(4名参加)を開催。両地区会では2018年度も同じメンバーで継続開催し、経営指針の成文化を目指しています。
- ②くしろ支部経営指針委員会を開催し、2016年12月に発刊された「経営指針成文化と実践の手引き」の学習会、各地域の取り組みについて情報交換を行い、経営指針づくりの普及に向けて取り組みました。

≪2. 組織委員会≫=====

- ①組織委員会では、2014年度に発足した一步の会(学びあい小集団グループ)を3グループで行い、新会員や地区会役員による報告例会、企業見学例会を開催しました。企業経

営における悩み、将来展望等が率直に語られ、同友会らしい「互いを知りあう学び」が展開されました。

②10月24日に会員増強のイベント「Doyu 交流会」を開催し、非会員（ゲスト）17名が参加。（有）良栄・PLAN 小山社長（道北あさひかわ支部）の熱意のこもった経営体験報告に感銘を受けたゲストがその場で入会を表明。次年度以降も「Doyu 交流会」を開催したいという声が委員からも出され、会員拡大への機運が高まりました。

③2018年2月に開催した新会員オリエンテーションには、新会員7名と紹介者、幹事、組織委員が参加しました。釧路地区会組織委員長の乗山氏（ファーストコンサルティング（株）・社長）より、自身の体験も含めながら同友会を活かすポイントについて報告がありました。交流会では新会員、紹介者のスピーチが行われ、会員間交流を深めました。

《3. 共育委員会》=====

①地区会共育委員会とも協同し、合同入社式後の新入社員研修会（3月28日釧路会場12社18名、3月29日別海会場3社5名）を実施しました。電話対応等の実技研修も交えながら、地域を担う人材づくりに取り組みました。

②7月19日にはマナー&コミュニケーション研修会（13社19名）を実施。コミュニケーション&カラスクール Sion の志村圭子氏（釧路地区会会員）を講師に招き、我流になりがちなビジネスマナーについて改めて研修を行いました。

③9月14日から10月12日の間、全4講の課程で先輩“共育”講座（8社8名）を実施。初めて後輩が出来る中堅社員を中心に、後輩のやる気を引き出すために、先輩社員としてどう接するべきか、グループワークも交えて考えを深めました。

④1月19日から3月9日の間、全8講の課程で第25期同友会くしろ幹部大学を開講し、受講した11社11名全員が修了しました。25期目となる今期では、新たなテーマとして『環境学』を設定。猛禽類医学研究所の齊藤代表を講師にお迎えし、釧路周辺の野生動物の現状についてお話し頂くなど、これまでにない学びもありました。

⑤採用した若手社員の定着が中小企業の重要課題となるなか、2月7日から3月28日の間、全5講の課程で入社3年未満講座（8社11名）を実施。地元で働くことをテーマにしたグループワーク、SNSとの付き合い方についての講座のみならず、受講生による自社紹介プレゼンテーションや他社社長の取材報告会も行いました。アウトプット型の研修を盛り込み、若手社員の就業意欲向上を図りました。

《4. 政策委員会》=====

①各自治体の振興条例により設置された審議会等への参画状況や、議論内容、課題について各地区会委員で意見交換を行いました。また、初の取組みとなる、管内自治体職員との条例懇談会を開催し、条例制定の意義を各自治体担当職員と共有。条例未制定の自治体からの参加もあり、条例制定の機運が高まりました。

②奈良県より同友会員、大学、行政、商工会職員、議員の計 15 名が条例視察のため来鉏。鉏路市における中小企業基本条例制定のプロセスと具体的な施策展開について、条例制定に関わった行政・会員・事務局担当者より報告しました。条例をより実践的に展開するための方策について意見交換を行いました。

《5. 求人委員会》=====

求人委員会は、新卒を対象に 5 月に鉏路商工会議所と共催で 37 社 275 名の参加で開催、8 月には鉏路市と連携しながら合同企業説明会を開催し、40 社の企業が参加し、151 名（高校、大学）の学生が集まりました。

大学のゼミの教授との人脈マップ作りは 13 大学、20 名との連携が図ることができ、12 月 15 日の鉏路企業の見学バスツアー、合同企業説明会の学生の参加に成果を上げています。

中途求職者の採用では鉏路市地域雇用創造協議会との連携もあり会員企業で 2 名採用することができました。同時に開催された女性求職者の合同企業説明会やスキルアップ事業でも会員企業に採用が決まっています。大学生に鉏路の魅力を伝えようと各大学のカリキュラムに講師を派遣していますが、今年は 5 大学 7 名となり、会員経営者が 90 分の持ち時間を生かして、鉏路の産業や自社の経営戦略、鉏路の元気な経営者などを紹介しました。アンケートでは鉏路の企業に 55%の方が興味を持ったと回答を得ています。

高校生の求人も年々厳しくなっていますが、6 月に高校の担当教員との懇談会、教員対象の企業見学会など高校にも中小企業の魅力を伝えています。また、「働き方」を考えるセミナー、外国人雇用セミナーを開き、採用と定着の促進を目的としたワンポイントセミナーを開催しました。

===くしろ支部 2017 年度活動のまとめ（4 部会報告）===

《1. くしろ支部青年部》=====

くしろ支部青年部はくしろ支部統合によって、みけた会（旧鉏路支部）、獺の会（南しれとこ支部）、山高会（根室支部）がそれぞれの組織形態を保ちつつ、同友会理念のもとに広域活動の活発化、根室、鉏路経済圏を支える青年経営者・幹部の力量を高めるべく 2016 年 4 月 16 日に発足しました。

支部の垣根を越えて、今年度は、函館での全道青年部・後継者部会交流会への参加、みけた会設営の道青交の打合せを兼ねた合同例会、など交流と研鑽を重ねてきました。各会とも部会員は少しずつ増加しています。広域活動の成果が見え始めています。今後とも移動距離のハンデを克服しつつ、お互いを高めあってまいります。

■みけた会（釧路）

みけた会は21年目のスタートを切り、来年の全道大会を迎えるにあたり、釧路地区会内での認知度の向上、会員増強、青年経営者として力量アップを目指して活動を展開しました。

会員を中心とした報告例会をベースに、釧路地区会との合同例会、体験例会を開催。網お越し例会、家族同伴の交流会を今年も実施しました。会員数は7名の新会員を迎えることができ43社となりました。

日時	名称	テーマ	報告者	参加人数
4月6日	第22回定時総会			19
5月11日	第1回世話人会			9
5月18日	5月例会	私の経営実践～経営者としての地域貢献とは～	(株)プライムネス 代表取締役 八幡 好洋 氏	12
6月14日	第2回世話人会			8
6月23日 ～24日	6月例会	網お越し体験（定置網）を通して漁業の今を知ろう！	(有)和田漁業部 専務取締役 和田 泰之 氏	8
7月5日	第3回世話人会			6
7月8日	7月合同例会	わが社の強みと魅力を語る		11
8月23日	第4回世話人会			6
8月27日	8月例会	「家族バーベキュー交流会」		25
9月12日	公開例会&釧路地区会9月例会	社員が輝く企業づくり～パン屋業界の異端児、二代目社長の挑戦～	(株)どんぐり 代表取締役社長 野尻 雅之 氏 (札幌支部会員)	32
9月20日	第5回世話人会			6
10月25日	第6回世話人会			5
10月25日	10月オープン例会	集客倍増！実例で解説するホームページ・ブログ活用術	(株)note 代表取締役 橋本 雄太郎 氏 (株)note 代表取締役 後藤 正嘉氏	14
11月15日	第7回世話人会			7
11月15日	11月例会	<第1部>「道青交 in 函館」の報告 <第2部>事故被害から保険業の道へ～同友会の青年部活動と会社づくり～	<第1部>（当日参加者より） <第2部> (株) ジャパン・プランニング 常務取締役 安田 浩佑 氏	10
12月7日	第8回世話人会			14
12月7日	新会員歓迎会&望年会			13
1月17日	第9回世話人会			7
1月22日	1月例会	2代目の経営のあり方を模索して～青年部活動で得たこと～	(株)くしろ紅庄 代表取締役社長 相田 美樹 雄 氏	16
2月15日	第10回世話人会			4
2月15日	2月合同例会	全道青年部・後継者部会交流会 in くしろを成功させよう！		9
3月20日	3月例会	釧路の歴史を学ぶ	釧路短期大学 教授 佐藤宥紹氏	12

■ 獭（ばく）の会（南しれとこ）

2017年度の獭の会は、メンバーそれぞれが報告者となることで、得意分野を活かし知識と経験を共有することができました。拡大に向けてオブザーバー参加も呼びかけ、参加もありましたが、会員数は8名に留まりました。2018年度に全道青年部・後継者部会交流会 in くしろを控え、より一層の声掛けを行っていきます。

日 時	内容
4/3	第24回獭の会定時総会 6名
5/15	獭の会5月例会 6名 テーマ：みんなで考えよう！今年度の活動について
6/15	獭の会6月例会 7名 テーマ：バーチャル株式投資と株主優待について 報告者：小針土建(株) 経理部長 齊藤 貢 氏
7/8	青年部7月合同例会 11名 テーマ：わが社の強みと魅力を語る
8/23	獭の会8月例会 6名 テーマ：差額原価収益分析 報告者：(株) オーレンス総合経営 公認会計士 枝 大樹 氏
10/4	獭の会9月例会 5名 テーマ：裁判員に選ばれた場合の心構え 報告者：弁護士法人 荒井・久保田総合法律事務所 中標津支店 弁護士 鍛冶 孝亮 氏
10/30	獭の会10月例会 5名 テーマ：ビジネスでも活かせる SNS 報告者：小柳電機(株) 3代目 小柳 佑樹 氏
11/10	全道青年部・後継者部会交流会 in 函館 4名（獭の会より） 基調講演：青年部活動と仕事、そして地域に根付いた経営は不離一体 講 師：(株) イベント21 代表取締役社長 中野 愛一郎 氏（奈良県同友会）
12/8	獭の会 望年会 8名
1/31	獭の会1月例会 6名 テーマ：ユニバーサルデザイン 報告者：雨宮印刷(株) 常務取締役 佐藤 学 氏
2/15	青年部2月合同例会 9名 テーマ：全道青年部・後継者部会交流会 in くしろを成功させよう！
2/23	獭の会2月例会 7名 テーマ：空き家対策について 報告者：第一宅建設計(株) 青山 新吾 氏
3/16	獭の会3月例会 7名 テーマ：世間で注目されてきた仮想通貨～そもそも仮想通貨ってなに？～ 報告者：(有) 今野電工 専務取締役 今野 朋弥 氏

■山高会（根室）

2017年度の山高会は「ひと・まち・楽しさの可能性探究。そして明日の夢を見る。」をテーマに例会を企画しました。会員報告を中心とし、方針でもある根室の「ひと」の可能性に迫りました。

例会回数は年度当初の予定を下回りましたが、互いを知りあう新たな機会となり、山高会員からも「大変勉強になった」と好評でした。

4/11	総 会	【山高会 第26回総会】 7名
5/17	例 会	【山高会 5月例会】 7名 テーマ：砂をつかんで立ち上がれ！アラキマサヒトのしくじり人生学 報告者：荒木塗装店 代表 荒木 正人 氏
6/19	例 会	【山高会 6月例会】 5名 テーマ：性的少数者の現状と課題 報告者：根室法律事務所 弁護士 保坂 いづみ 氏(性同一性障害当事者)
7/8	支部青年部 合同例会	【青年部7月合同例会】 11名 テーマ：わが社の強みと魅力を語る
12/14	合同望年会	【根室地区会&山高会 合同望年例会】 16名
2/15	支部青年部 合同例会	【青年部2月合同例会】 9名 テーマ：全道青年部・後継者部会交流会 in くしろを成功させよう！
2/20	例 会	【山高会 2月例会】 5名 テーマ：根室 NO.1 ユーチューバーが送る販促の極意「俺に学べ」報告者：荒木塗装店 代表 荒木 正人 氏
3/15	例 会	【山高会 3月例会】 4名 次年度の活動方針、活動内容についての検討

《2. あゆみの会》=====

- 1) 座学だけではなく「ものづくり体験」や望年例会を企画する等、5回の例会を開催しました。また、あゆみの会メンバーだけではなく、オブザーバーの方にも多数参加いただき、活発な活動を展開しました。
- 2) 釧根農業経営部会長の伊藤デイリー・伊藤社長や、釧路短期大学・杉本教授、佐藤教授を講師にお招きし、地域の基幹産業である酪農や、釧路の経済や歴史について学ぶ等、多面的なテーマで学びを深めました。

《3. マルチメディア研究会》=====

- 1) 2017年度は、地域のイベントでもある「fringe Hokkaido 2017」の舞台裏を見学しました。(株)MACHAの川村社長にイベントで用いる音響施設等を見学し、学びを深めました。
・恒例となった一泊研修会を2017年度も開催し、中標津に伺いました。例会及び懇親会では南しれとこ地区会の会員にもお越し頂き、部会を通じて地域を超えた交流を行いました。

《4. 釧根農業経営部会》=====

- 1) 第5回釧根農業部会総会では、とち支支部会員の農業組合法人サンエイ牧場・辻本代表理事組合長が、「サンエイ牧場の挑戦～メガファーム、バイオガспラント、そして…～」をテーマに講演。環境に配慮した「循環型農業」を目指したメガファームの取組み、辻本氏の思いから新たな酪農の有り方について学びました。
- 2) 農業に関わる新会員報告例会や、くしろ支部、他地区会との合同例会を企画する等、6次化や地域づくりといった多面的なテーマの例会を開催し、部会の目的でもある異業種交流や経験交流の推進に努めました。
- 3) 担当幹事による例会企画・運営に新たに取り組み、時流に沿ったテーマや地域性・業種のネットワークを活かした例会を開催。移動例会は会員からも好評で、多くの会員が学びに参加しました。
- 4) 10月の高知県視察研修では、【道の駅四万十とおわ】や生産者との交流、現場視察を実施。四万十川に負担をかけないモノづくり、地元発着型産業づくりについて学び、新たな地域間連携も生まれました。地元にある資源は何か、それらを活かした地域づくりと農業の有り方に大きなヒントを得ました。

《5. 同友会くしろ幹部大学同窓会》=====

幹部大学同窓会では、活動方針に基づき、年度計画を着実に実施し、同窓会らしい学びを実践してまいりました。

幹部大学での学びを更に深めるため、釧路高専の小田島氏を講師に招いた例会や、釧路明輝高校、釧路公立大学中村ゼミとの交流例会も行いました。また、秋には同窓会設立20周年を記念し、釧路地区会と合同で記念講演会を開催。神戸大学の二宮名誉教授にご講演頂いた後、パネルディスカッションを行い、若手の働きやすい職場づくりについて学びあいました。

更に、第25期幹部大学の開講に際しまして、各講義の司会やグループ討論のサポート、第8講での問題提起など、同窓会の新しい活躍と学びの場が広がりました。

==くしろ支部 2017 年度活動のまとめ (3 同好会報告) =====

《1. ノイズ倶楽部》=====

出演バンド【4 バンド】、来場者は【242】名でした。メンバーの積極的なチケット販売、声掛けもあって、チケット販売数 283 枚に対して 8 割以上の来場がありました。

料理や会場の座席については余裕を持って用意していたこともあり、当日会場で大きな混乱等もなく、ノイズ倶楽部の 10 周年を盛大に祝うことが出来ました。

《2. ゴルフ同好会》=====

今年度は計画の通り 4 回の例会を行いました。参加率も高く、活気のある会運営を行うことが出来ました。

開催日	2017 年度活動
5 月 26 日 (金)	【5 月例会】 釧路カントリー・東コース 【15 名】
7 月 1 日 (土)	【7 月例会】 阿寒カントリー 【16 名】
8 月 19 日 (土)	【8 月例会】 釧路カントリー・西コース 【16 名】
10 月 21 日 (土)	【10 月例会】 釧路カントリー・東コース + 納会 【14 名】

《3. ツーリングクラブ》=====

2017 年度は天候不良により 1 泊例会は中止となってしまいましたが、3 回の例会を開催いたしました。各例会とも会員だけではなく、多くのオブザーバーに参加いただき盛況のうちに 2017 年度の活動を終了いたしました。新年交礼会の場合などでは来年度に向けて更なる活動の拡大や他支部との交流について積極的に意見交換がされ、会員間、及びオブザーバーの皆様との親睦を深めることが出来ました。

開催日	活動内容
2017 年 6 月 18 日 (日)	6 月例会 (ツーリング/北見方面)
2017 年 7 月 30 日 (日)	7 月例会 (ツーリング/裏摩周・斜里方面)
2017 年 9 月 2 (土) ~ 3 (日)	9 月一泊例会 (ツーリング/十勝川温泉) ⇒天候不良で中止
2017 年 9 月 24 日 (日)	9 月例会 (ツーリング/足寄方面)
2017 年 11 月 11 日 (土)	納 会 (居酒屋こやま)
2018 年 2 月 17 日 (土)	新年交礼会 (美味し屋 華蔵)

議案第2号 2017年度決算報告

※別紙決算書をご参照ください

議案第3号 2018年度支部幹事・会計監査（支部役員）選出

北海道同友会くしろ支部2018年度役員(案)

	支部内役職	氏名	会社名	役職
1	幹事 (釧路地区会)	長江 勉	取締役会長	長江建材 (株)
2	幹事 (釧路地区会)	木内 敏子	代表取締役会長	(株) ダスキン釧路
3	幹事 (南しれとこ地区会)	雨宮 慶一	代表取締役	雨宮印刷 (株)
4	(新) 幹事 (根室地区会)	早川 元	代表取締役	(株) マルコシ・シーガル
5	(新) 幹事 (別海地区会)	西原 浩	代表取締役	(有) アークスファーム
6	幹事 (釧路地区会)	曾我部 元親	常務取締役	北泉開発 (株)
7	幹事 (厚岸地区会)	成澤 則充	代表取締役社長	(株) ナリテツ
8	幹事 (ルパン浜中地区会)	出口 将平	代表取締役	(株) 丸物出口興産
9	(新) 幹事 (摩周地区会)	宮田 歓朗	代表取締役社長	(株) 宮田電気
10	幹事 (標茶地区会)	小林 浩	代表取締役社長	(有) 小林自動車整備工場
11	幹事 (釧路地区会)	藤井 芳和	代表取締役	(株) トップオブ釧路
12	幹事 (南しれとこ地区会)	青山 隆志	代表取締役	(有) 青山商会
13	(新) 幹事 (根室地区会)	田嶋 靖照	取締役ゼネラルマネージャー	(株) ナカイチ
14	幹事 (別海地区会)	高橋 宗靖	代表取締役	(株) 高橋工業
15	(新) 幹事 (標茶地区会)	石栗 征剛	局長	日本郵便 (株) 標茶郵便局
16	幹事 (厚岸地区会)	中島 健洋	常務取締役	(有) 平良木新聞店
17	幹事 (ルパン浜中地区会)	澤辺 慎也	代表	Rec
18	幹事 (摩周地区会)	竹森 英彦	代表取締役	(株) 摩周調剤薬局
19	(新) 幹事 (釧路地区会)	櫻井 英裕	代表取締役	リプラス (株)
20	幹事 (釧路地区会)	森川 浩一	代表取締役	(株) オイコス
21	幹事 (釧路地区会)	表 共良	代表取締役	(有) カーショップ オモテ
22	幹事 (釧路地区会)	杉本 眞美	代表取締役社長	西興建設 (株)
23	(新) 幹事 (釧路地区会)	佐藤 公一郎	代表取締役社長	(株) 山一佐藤紙店
24	幹事 (釧路地区会)	福井 克美	代表取締役	(株) トーテック
25	幹事 (釧路地区会)	亀岡 孝	代表取締役	総合設備 (株)
26	幹事 (根室地区会)	高岡 一朗	代表取締役	根室スチレン (株)
27	幹事 (ルパン浜中地区会)	石橋 榮紀	代表理事会長	浜中町農業協同組合
1	会計監査 (釧路地区会)	北山 幸徳	税理士	北山幸徳税理士事務所
2	会計監査 (釧路地区会)	中井 厚志	代表取締役	日章運輸機工 (株)

《スローガン》

原点回帰！『人を生かす経営』への取り組みと魅力ある企業づくりを目指そう！

根釧三支部は広域での学びや交流を通して各企業の体質強化をはかり、根釧経済の発展を図るために統合して3年目を迎えます。各地区会が活動の主役として役割を果たし、支部は各地区会の実践を根釧全域に広げていく仕組みを作っていました。新年度も各地区会の実践や成果をくしろ支部幹事会がコーディネートして根釧の会員企業に広げていく1年としてまいります。会員700社の知恵を結集して、意欲的に下記の方針にのっとり行動を起こしてまいりましょう。

＜企業づくり＞

1. 企業づくりを会員の意欲的な実践報告、人材確保と育成で進める

- ①会員の知恵や経験は“辞書の1ページ”と言われます。会員経営者の実践報告を通して「新しい辞書の1ページをめくる」活動を展開し、「人を生かす経営」の実践を広げてまいります。
- ②経営指針成文化は社員と共に発展する企業を目指す要の活動です。企業存続を経営者の大きな使命としてとらえ、釧路地区会(くすり塾)、南しれとこ地区会(経営指針づくり勉強会)、別海地区会(経営指針成文化研究会)等の活動を展開してまいります。
- ③人材確保と育成は企業成長の基本となります。共育委員会、求人委員会が年間スケジュールを組んで釧路会場・別海会場と2拠点で社員教育、共同求人活動を強化してまいります。また、各地区会で高校教員との懇談会等を通して、中小企業の魅力を伝える活動を進めてまいります。
- ④企業数が年々減少する中、事業承継問題は地域経済問題ともなっています。くしろ支部青年部と連携しながら後継者育成にも取り組んでまいります。

＜地域づくり、経営環境づくり＞

2. 地域資源の再発見、新しい視点での企業連携で活性化を目指そう

根釧700社の会員企業はそれぞれの視点で地域資源を活用し商品化を進めています。くしろ支部は広域の利点を生かし、商品開発や、経済的波及効果の高い観光振興を目的とした企業連携により、企業と地域の活性化を目指してまいります。

3. 中小企業振興基本条例は地域の“経営指針”、制定の支援と実践を深める

条例は地域づくりの指針となるものです。地方創生の旗印のもと全国の市町村では一斉に総合戦略を制定して人口対策、産業の振興に動き出しました。指針なき振興策は地域の将来に光をともし結果になりません。釧路市、弟子屈町、厚岸町、別海町、中標津町、標津町、羅臼町、根室市など制定した市町と連携し、制定への支援と実践の学びを深めてまいります。

<同友会づくり>

4. 経営、人、地域を支える同友会づくりを進める

- ①くしろ支部の各地区会の交流、連携強化を目的とした「釧根経営セミナー」を引き続き開催し、根釧地域の各地区会の連携を推進してまいります。
- ②新会員の入会は会活動に新風を吹き込み、新鮮な活動に結び付きます。オリエンテーションを開催して同友会の魅力を伝えて共に学ぶ同友会の輪を広げてまいります。さらに各地区会例会での紹介、報告者の依頼、歓迎会を定例化して「新会員を温かく迎える」を合言葉に新会員のフォローアップを行ってまいります。
- ③2019年に北海道同友会は創立50周年を迎えるにあたり、同友会の原点や、先輩経営者の同友会への熱い思いを学び、同友会の理念を深めてまいります。
- ④同友会の会員は辞書の1ページです。学びあう仲間が増えることで辞書の厚さが増します。今年度は全道青年部・後継者部会交流会が釧路で開催されるため、青年経営者、女性経営者の入会を重点課題とし、くしろ支部720社を目指して会員増強に努めてまいります。

◎支部方針に基づいた8地区会の2018年度活動計画案)-----

《1. 釧路地区会》=====

《スローガン》

「心ひとつに力を合わせ柔軟かつ強靱な組織づくりを!!」

活動方針を委員会が例会・セミナー企画として推進してまいりました。今年度は、中小企業の頑張りや地域経済を支えていくとの気概を胸に下記の活動方針で柔軟かつ強靱な企業づくりを目指してまいります。

<企業づくり>

1. 会社ぐるみで学びあい、経営体質の強化を図る活動を展開しよう
- ① 経営者と社員が共に学びあい、“人を生かす経営”の実践と、変化する経営環境に対応できる研修会・講演会・例会などを開催してまいります。
- ② 経営指針は企業経営の根幹であります。経営指針委員会の運営で第5期くすり塾を開催し、経営指針成文化セミナーなどを通じて、企業の持続成長のための運動を展開してまいります。
- ③ 事業承継は、中小企業の存続だけではなく雇用の減少など地域問題にもなりつつあります。中長期の経営計画を明確に立て着実に準備を進めていくことが重要です。専門家の知恵も借りながら活動を強化してまいります。
- ④ 企業にとって人材確保と育成は企業存続の要となります。共育委員会、求人委員会が系統的に年間スケジュールを組んで社員教育、共同求人活動を強化してまいります。

<地域づくり>

2. 釧路市中小企業基本条例に基づいた地域づくりを推進しよう

- ① 2010年に閣議決定された中小企業憲章と中小企業振興基本条例制定運動の推進は全国にも広がりを見せており、釧路市の条例の実践は全国からも注目されています。2009年に条例が制定された釧路地区会では釧路市との中小企業円卓会議など連携して推進してまいります。
- ② 中小企業憲章の精神を広げ、釧路市中小企業基本条例の「産消協働」の理念を柱に、① 域内循環 ② 外貨獲得 ③ 域内連携の3点を推進してまいります。
- ③ 金融機関との共栄は中小企業の発展を支えます。金融庁からベンチマークなどの指針も示されています。相互理解を深めてまいります。

<同友会づくり>

3. 会員が心をつなげて活動し、一人一人が主役として輝ける同友会活動

- ① お互いに知りあい、学びあい、助けあうのが同友会の原点。会員がお互いに率直に経営体験を報告し、その中から強い企業づくりのヒントを見出してまいります。また、小集団活動「一歩の会」を充実させてまいります。
- ② 新会員オリエンテーションを開催して同友会の魅力を伝えてまいります。
- ③ 女性経営者の会員比率を高めて、その知的魅力で同友会活動に輝きと潤いを与えてまいります。
- ④ 学びあう仲間が増えることは、地域活力につながります。釧路地区会の会員数は364社です。会員数379社達成に向け、精力的に活動を展開してまいります。

《2. 根室地区会》=====

《スローガン》 「共育、共創、共栄」進取の気性で未来を拓く

1. 地区会づくり

- ① 委員会活動を活発化させ、会員のための地区会を機能させよう。
- ② 会員の要望を反映させた例会を企画し、役員と事務局が協力し訪問や声かけを行い、例会参加者増を目指そう。
- ③ 会員報告例会を企画し「知りあい、学びあい、助けあい」の意思を醸成し、共育の環境づくりを図ろう。
- ④ 時流の変化に伴い、企業の強みを活かした業態変化や新事業参入、海外展開など経営戦略について学ぶ例会を実施しよう。
- ⑤ 会員を貴重な「辞書の1頁」として、根室地区会70社会員を目指そう。

2、企業づくり

- ①脱成功体験し失敗体験を学び自分事と捉え、自社の企業風土の歪みを変えて組織を活性化していこう。
- ②人材の確保と定着を改善するため、雇用情勢と社内環境づくりについて学ぼう。
- ③計画的、戦略的な事業承継について学ぼう。

3、地域づくり

- ①根室市や関係機関と連携し、根室市中小企業振興基本条例に基づいた産業振興ビジョンの具体化を進め、共創・共栄の土台を作ろう。
- ②今年が根室の60年に一度の大改革の年と捉え、積極的に新しい物事へ取り組んでいく気質を持とう。
- ③日ロ共同経済活動に関する行政の会議に積極的に参画しよう。

《3. 別海地区会》=====

《スローガン》 この地から、持続可能な未来へ!

◇全体目標

- 会員の結集率を高めるとともに、地域との関わりを深め、90社地区会員を達成しよう。
- くしろ支部のみならず、全道・全国の他地域、企業との交流や連携を具体化しよう。
- 別海町中小企業振興基本条例を活用した、地域経済振興策を各団体と連携して推進しよう。
- 経営指針成文化研究会の活動を充実させよう。
- 別海町医療サポート隊「医良同友」の活動を地域に発信するなど、地域住民との連携・交流を更に深め、住みよいまちづくりに貢献しよう。
- 効果的な中小企業振興策を的確かつ迅速に行うため、「別海町産業連関分析」の調査結果の施策への反映について研究しよう。
- 会員一人ひとりが辞書の1ページ。地区会の会員が報告する例会を開こう。

◇幹事会

- 中小企業振興基本条例に基づき、振興策を協議する会議体に参画する。
- 京都大学による地域経済分析結果(岡田レポート)を踏まえた地域振興策の協議、立案、提言を行う。
- 産業間連携を推進する「産業連携室(仮称)」設置を、行政内部に置くことの提唱と要請活動を行う。

- 地域医療を守る「医良同友」の推進とパートナーシップの強化を図る。
- 同友会活動を広く理解する為に同友会理念、経済学の考察を深める例会を企画する。
- 人口減少を少しでも抑制する為、未来の定住、人口増に繋がる活動の推進。
- 会員同士の融合、協力、団結を深める為、懇親の場もって連帯感の醸成を促進する。
- 民主的な会運営を図るべく地区総会の開催を行う。
- 地域経済の連続性を鑑み、将来のオピニオンリーダーとなりえる世代への学習意欲、向上心、愛郷心を育むため、各学術機関との連携を図り、子供たちへの体験留学を行う。

《4. 南しれとこ地区会》=====

《スローガン》 みなで集い、親しく語り、共に学びあおう！

■南しれとこ地区会活動方針

1. 同友会の原点を大切に、3つの目的に沿った学びあい活動を展開しよう

同友会の原点である「異業種で集い、語り合い、学びあう」スタイルを大切に、自己研鑽と、地域と共に飛躍していく企業づくりを行うために、求人・共育など地域や時代の課題を話し合う例会や、事業承継、経営指針づくりの重要性を喚起するような例会、会員報告例会などを開催します。

2. 新会員や会員歴が長い会員が積極的に参加できる学びの場づくりを目指そう

各委員会、プロジェクト、会議で、会員のニーズに応え、様々な世代が参加しやすい例会や交流の場づくりを進めます。また、青年経営者・企業幹部の活躍の場を増やします。

3. 中小企業振興基本条例に基づいた地域づくりを推進しよう

中標津町中小企業振興基本条例を基に、行政や町議会、他団体と連携・交流し、講演会やビジネス相談会などを実施するとともに、審議会を通して必要な施策提言を行います。

4. くしろ支部各地区会との交流と連携を促進しよう

くしろ支部には8地区会が活動を展開しています。支部企画や、釧根経営セミナーへの参加など、各地区会との交流を通して広域で会員間連携を図ります。

5. 南しれとこ地区会 70 社会員を目指そう

学びあう仲間が増えることは、地域の活力につながります。地区会会員数 70 社に向け、精力的に活動を展開しよう。

《5. 標茶地区会》=====

- ①会員の要望を反映した例会を企画し、地域や会員のための活動に取り組もう。
- ②他地域講師を招いたオープン例会や、まちづくり先進地への視察を行い、地域間交流を深めよう。
- ③標茶高校との懇談会や企業経営者による講話を開催し、地域の将来を担う若年者の人材育成、職業観の形成、地元定着を目指し、教育機関との連携を進めよう。

《6. 厚岸地区会》=====

- ①同友会の3つの柱（経営指針、共同求人、社員共育）を軸に、お互いの経営体験の交流など、共に学び合う例会を企画開催する。
- ②会員による報告例会を企画し、同友会らしい学びを展開する。
- ③地域をもう一度見つめ直し、魅力を再発見する学び合いをする。
- ④他団体や行政とも連携し、地域を巻き込んだ活動を展開していく。

《7. 摩周地区会》=====

- ①弟子屈町中小企業基本条例を大いに活用した地域経済振興策の検討と要望の発信。
役場、商工会、観光協会、農協と連携し政策提言に向けての勉強会を開催し、協議会の再構築を検討する。（摩周DMO（仮称）についての勉強会など）
- ②会員の経験と知識の交流を目指した、会員報告例会を積極的に開催する。
- ③地元教育機関との連携を深め、小中高生を対象としたキャリア教育支援活動を実施する。
（弟子屈高校への講師派遣、面接指導など）
- ④地熱などの「地域資源の活用」をテーマとした例会を開催する。
- ⑤2014年度より実施している「美味しい例会」を継続開催する。
- ⑥同友会の活動を会員外に広く知ってもらうための、地域向けセミナーを開催する。

《8. ルパン浜中地区会》=====

- ①ルパン浜中地区会員と、根釧エリアの会員企業の成功体験や失敗のストーリーからの学びを「危機管理」という視点で学び、経営体質の強化を図ります。
- ②経営者と社員が共に学びあえる例会を企画し、事務局と役員が協力し訪問や声掛けなどを行い、例会の出席率を高めます。
- ③地域経済について学ぶ機会をつくり、各団体と連携し、(仮)産業振興基本条例の制定運動に取り組みます。
- ④経営者や地元企業への理解を深め、地元就職の促進を目指し、霧多布高校との懇談会や説明会等を企画します。

◎支部方針に基づいた各委員会の2018年度活動計画-----

《1. 経営指針委員会》=====

- ①釧路地区会(第5期くすり塾・6月スタート)、南しれとこ地区会(第8期経営指針づくり勉強会・2017年度より継続開催)、別海地区会(第9期経営指針成文化研究会・2017年度より継続開催)等の活動を「経営指針成文化と実践の手引き」を活用し、展開してまいります。
- ②経営指針成文化で企業を伸ばしてきた会員の方を講師として招き経営指針成文化の成果を支部内に周知します。

《2. 組織委員会》=====

- ①くしろ支部会員数720社を達成します。
- ②小集団活動(一步の会)のグループ編成を新たにし、同友会らしい学びあいを促進します。
- ③新会員オリエンテーションを年2回開催し、新会員の同友会活動の理解を深めます。
- ④Doyu 交流会(会員増強イベント)を実施し、会内外への同友会活動のPR、会員拡大に取り組めます。
- ⑤とまち支部拓の会との定期交流で学びあい活動の輪を広げていきます。

《3. 共育委員会》=====

- ①新入社員研修、3年未満研修を充実させて3年間で5割を超える離職率を低減させるよう社員定着を図ります。
 - ・新入社員研修会(3月)
 - ・若手社員向けビジネスマナー講座
 - ・先輩社員講座(中間管理職だけでなく、初めて後輩を持つ社員からが対象)
- ②お客様の会社案内や接待等で社内教育のレベルが問われる時代と言われる中で、中堅幹部等の「接待マナー研修」を開催します。
- ③中堅幹部の総合的な力量を身につけることを目的に「第26期同友会くしろ幹部大学」を開講します。
- ④幹部大学 別海分校の実現に全面的に協力します。
- ⑤共育にかかわる地区会例会を開催して、共育を実践している経営者の事例報告をして頂きます。

《4. 政策委員会》=====

- ①各地区会と連携し、根釧の条例未制定自治体に条例制定活動を展開します。
- ②金融との懇談会や勉強会を開催する等、金融機関と同友会他委員会との連携を促進します。
- ③自治体職員との懇談会を開催、条例制定運動の推進、条例を活用した地域づくりについて経験交流を図ります。
- ④釧路市ビジネスサポートセンター(k-Biz)と連携し、地域企業振興に取り組めます。

《5. 求人委員会》=====

- ①中途求職者、大学、短大、専門学校、高校への中小企業の魅力の発信と人材の確保・定着を図り、会員企業の採用意欲に応えます。
- ②インターンシップの受け入れなど高校生の就職意欲向上、進路指導を高校と連携して行います。

◎くしろ支部各部会 2018 年度活動方針-----

《1. くしろ支部青年部》=====

- ①企業のリーダー（青年経営者、後継者、幹部社員、幹部社員候補）として、同友会運動に積極的に参加し、自主的に学びあい、自社の発展をめざします。
- ②くしろ支部青年部例会をみけた会、獺の会、山高会で持ち回り開催します。
- ③青年経営者・幹部社員として、時代に要求される総合的な能力を身につけます。
- ④会員同士の「共育」関係、人的ネットワークを通じてより良い企業づくりを目指します。
- ⑤2018 年全道青年部・後継者部会交流会を成功させます。

■みけた会（釧路）

- ①みけた会会員の経営の考え方、企業の内容をじっくり学ぶ「本音トーク」例会を開催します。
 - ・同友会の原点に返って、会員が1つのテーマについてじっくり語り合う。
 - ・会員企業見学と報告を合わせた例会。
 - ・会員の方から当面の経営の課題、悩みを報告していただき、参加者でアドバイスをするみけた会「社外重役会議」の開催
- ②全道・全国規模の同友会活動、特に、全道青年部交流会や全道経営者“共育”研究集会、青年経営者全国交流会に積極的に参加するよう呼びかけます。
- ③青年部みけた会の存在を会内外にアピールするために、全道の青年経営者を招いてのオープン例会を開催します。
- ④新会員の加入は、みけた会の活動に新風を吹き込みます。会内外の方に活動を周知し 50 名を目標に会員増強を行います。
- ⑤11月9日の「道青交 in くしろ」の成功を目指します。

■獺（ぼく）の会（南しれとこ）

活動テーマ：共に学び合い、成長し合おう！

※活動日は15日を基本とする。

■山高会（根室）

活動テーマ：ゴートウザフューチャー

激変時代の未来経済に乗る為に僕らは新しき未来を想像する

IT時代に変化しており地方都市でも激動の変化が訪れる。

IoT、仮想通貨など。

地方都市は情報に触れる機会が少ない。

ITが今後どのようにビジネスに変化をもたらすのかを模索し活用の方策を考える。

《2. あゆみの会》=====

年間スケジュールに基づき、年に5～6回程度の例会を開催します。

- 1) あゆみの会設立30周年を記念した例会を企画し、新たな学びを展開します。（釧路短期大学と連携した企画を予定）
- 2) 新会員募集やオブザーバー参加を広く呼びかけ、あゆみの会の活性化を図ります。

《3. マルチメディア研究会》=====

1. 定例的な例会を開催してITの発展に会員が対応できる活動を目指します

- ・例会は、新しい仲間やオブザーバーが参加しやすいように工夫します
- ・メンバーによる報告例会を行い、お互いの知識・経験を交流し合います
- ・他地区への一泊研修会を企画し、部会内だけでなく、幅広い交流を図ります
- ・釧路高専との連携、AI、スマホのセキュリティー、ネット販売会員報告、SNSについてなどを例会の中で学んでいきます

2. 新しい仲間を募り、マルチメディア研究会の活性化を図ります

- ・新しい仲間を募り、会の運営の活性化を図ります
- ・地区会の例会、研修会と連携してオープン例会を開催します
- ・トレンドに合わせた例会を開催し、加速化する時代の変化に適応していきます。

《4. 釧根農業経営部会》=====

【活動方針】

1. 企業家を目指す農業者や関連業者が集まり、異業種交流を推進し互いの経験交流を自社の経営に活かす取組みを行う。
2. 釧根農業経営部会が地域の産業クラスターとしての役割を担い、生産・加工・流通のあらゆる業種が学びあい、根釧地域の活性化を図る。

《5. 同友会くしろ幹部大学同窓会》=====

1. 幹部大学での学びを更なるレベルアップをするため、活発な例会運営を行いましょ。

①幹部大学での学びを更に深めるため、幅広いテーマの例会を行いましょ。

②地域の教育機関と連携し、学びあいましょ。

③同窓会の活動について、メンバー全員で考えていきましょう。

2. 会内での交流を深め、人間的なつながりを深めましょう。

①25期修了生を歓迎し、共に学びを深めあいましょう。

②25期生に同窓会の学びの魅力を伝えましょう。

③新しく仲間に加わるメンバーも今までのメンバーも相互に知識・経験を交流し合ひましょう。

◎くしろ支部各同好会の2018年度活動方針-----

《1. ノイズ倶楽部》=====

- ・毎年開催しているビアパーティーを今年度も開催し、支部の活動に花を添えます。
- ・音楽を通じ、会内の仲間づくりと交流の活性化に貢献します。

《2. ゴルフ同好会》=====

- ・計画に基づき、定期的なゴルフ例会を開催し、会員間の交流を深めましょう。
- ・毎回定員を目指し、積極的に参加しましょう。
- ・他支部とのゴルフ交流会の実施により更に支部を超えた会員間の交流を深めましょう。

《3. ツーリングクラブ》=====

根釧地域や十勝方面を中心とした4回の例会(ツーリング)と納会、新年会を実施します。

議案第5号. くしろ支部2018年度予算

※別紙予算案をご参照ください。

議案第6号 全道総会代議員の選出

一般社団法人北海道中小企業家同友会第50回定時総会 代議員

於：6月11日(月) ロイトン札幌 14時

○くしろ支部選出代議員(定数38名)

(氏名五十音順・敬称略)

	氏名	会社名	役職	地区会
1	木内 敏子	(株) ダスキン釧路	代表取締役会長	釧路
2	杉本 眞美	西興建設(株)	代表取締役社長	釧路
3	浅野 葉子	(株) アシスト	代表取締役	釧路
4	佐藤 公一郎	(株) 山一佐藤紙店	代表取締役社長	釧路
5	藤井 芳和	(株) トップオブ釧路	代表取締役	釧路
6	八幡 好洋	(株) プライムネス	代表取締役	釧路
7	酒田 浩之	NPO 法人 和	副理事長	釧路
8	櫻井 英裕	リプラス(株)	代表取締役社長	釧路
9	長江 勉	長江建材(株)	取締役会長	釧路
10	曾我部 元親	北泉開発(株)	常務取締役	釧路
11	森川 浩一	(株) オイコス	代表取締役	釧路
12	乗山 徹	ファーストコンサルティング(株)	代表取締役	釧路
13	表 共良	(有) カーショップ オモテ	代表取締役	釧路
14	福井 克美	(株) トーテック	代表取締役	釧路
15	亀岡 孝	総合設備(株)	代表取締役	釧路
16	雨宮 慶一	雨宮印刷(株)	代表取締役	南しれとこ
17	青山 隆志	(有) 青山商会	代表取締役	南しれとこ
18	日下 雪夫	(株) 津村測量設計	代表取締役	南しれとこ
19	渡辺 政之	(有) ワタナベ葬儀社	常務取締役	南しれとこ
20	加藤 昌之	(有) バースコム	代表取締役	南しれとこ
21	葭原 聡	釧根開発(株)	取締役総務部長	南しれとこ
22	西原 浩	(有) アークスファーム	代表取締役	別海
23	山口 寿	富田屋(株)	代表取締役	別海
24	高橋 宗靖	(株) 高橋工業	代表取締役	別海
25	鈴木 尚寿	(有) 鈴木建設興業	代表取締役	別海
26	森川 一郎	(株) 森川商店	代表取締役	別海
27	外村 武	(株) ほくえい	代表取締役	別海
28	早川 元	(株) マルコシ・シーガル	代表取締役	根室
29	田嶋 靖照	(株) ナカイチ	取締役ゼネラルマネージャー	根室

30	成澤 則充	(株) ナリテツ	代表取締役社長	厚岸
31	中島 健洋	(有) 平良木新聞店	常務取締役	厚岸
32	近藤 明	(株) 近藤建設	代表取締役	摩周
33	竹森 英彦	(株) 摩周調剤薬局	代表取締役	摩周
34	小林 浩	(有) 小林自動車整備工場	代表取締役	標茶
35	石栗 征剛	日本郵便 (株) 標茶郵便局	局長	標茶
36	出口 将平	(株) 丸物出口興産	代表取締役	ルパン浜中
37	澤辺 慎也	R e c	代表	ルパン浜中
38	石橋 榮紀	浜中町農業協同組合	代表理事組合長	ルパン浜中

2018年度 くしろ支部組織図

